

この資料は、令和5年1月25日（水）に開催した「榎が丘小学校校舎建替工事に伴う工事説明会」の資料をホームページで掲載するにあたり、一部修正を加えたものです。

本資料の内容についてのご質問は、下記までお問い合わせください。

建築局公共建築部学校整備課

担当：月本、海保

電話：671-2969

榎が丘小学校校舎建替工事に伴う工事説明会

日 時 令和5年1月25日（水）午後6時30分より

会 場 榎が丘小学校体育館

- 次 第
- （1）開会の挨拶
 - （2）工事関係者の紹介
 - （3）計画概要説明
 - （4）工事概要説明
 - （5）質 疑
 - （6）閉 会

発 注 者 : 横浜市教育委員会事務局施設部教育施設課

工事監理者 : 横浜市建築局公共建築部学校整備課

設 計 者 : 株式会社濱田慎太建築事務所

工事施工者 : （ 建 築 工 事 ） 馬淵・小雀建設共同企業体

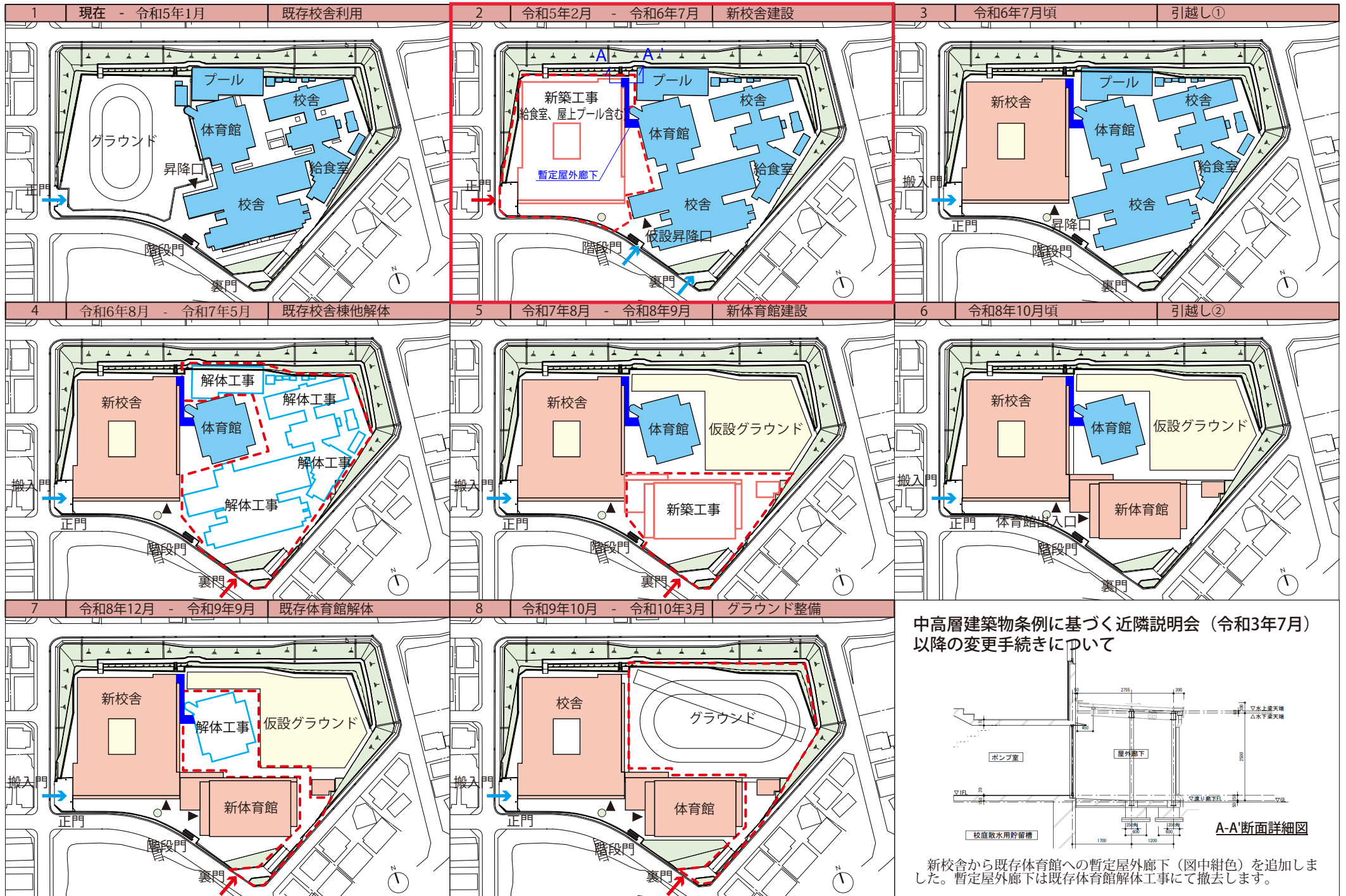
（電気設備工事） 未定（決定後現場掲示）

（空調設備工事） 未定（決定後現場掲示）

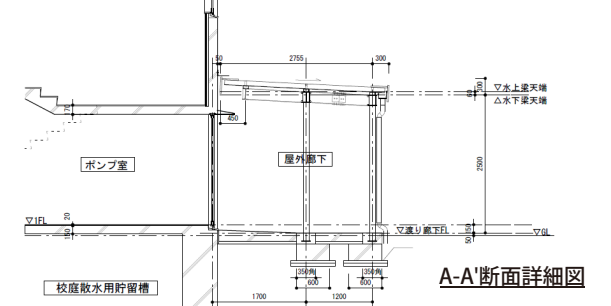
（衛生設備工事） 未定（決定後現場掲示）

（昇降機設備工事） 未定（決定後現場掲示）

■建替工事の流れ（予定）

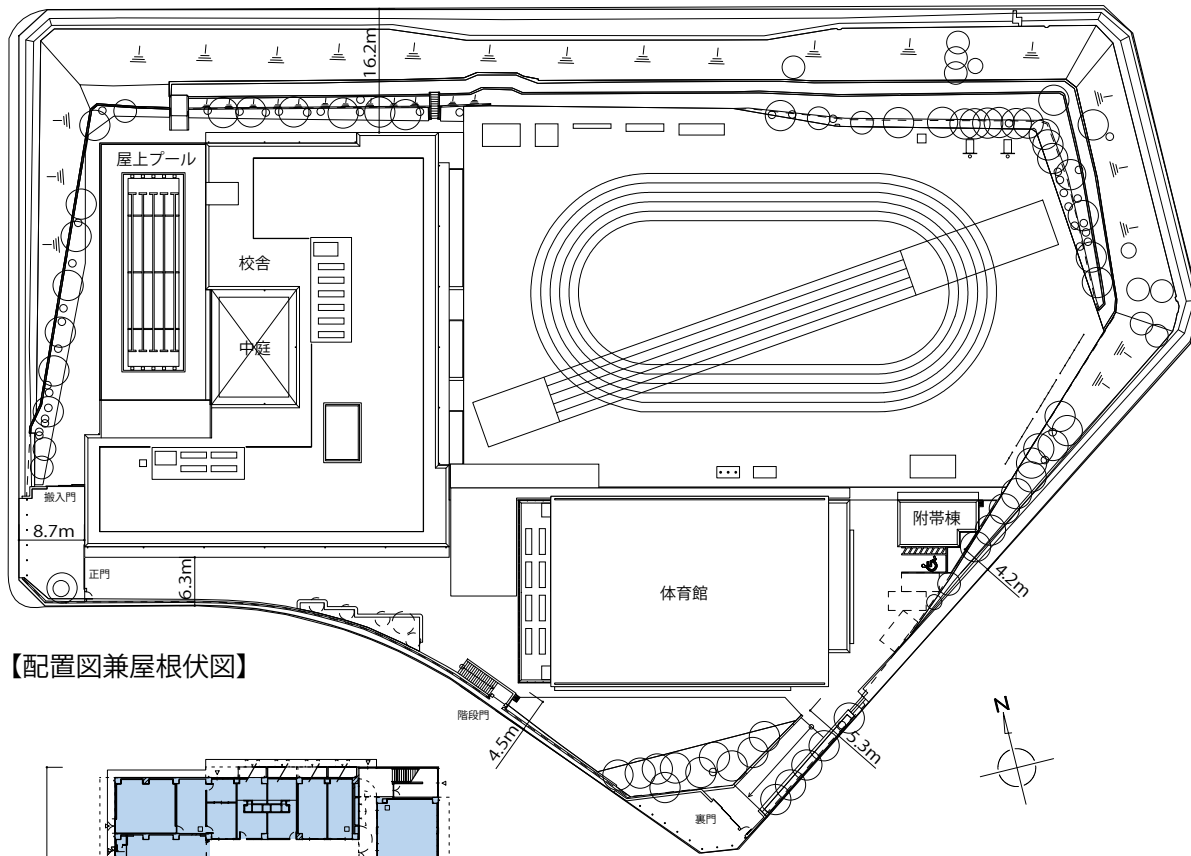


中高層建築物条例に基づく近隣説明会（令和3年7月）
以降の変更手続きについて

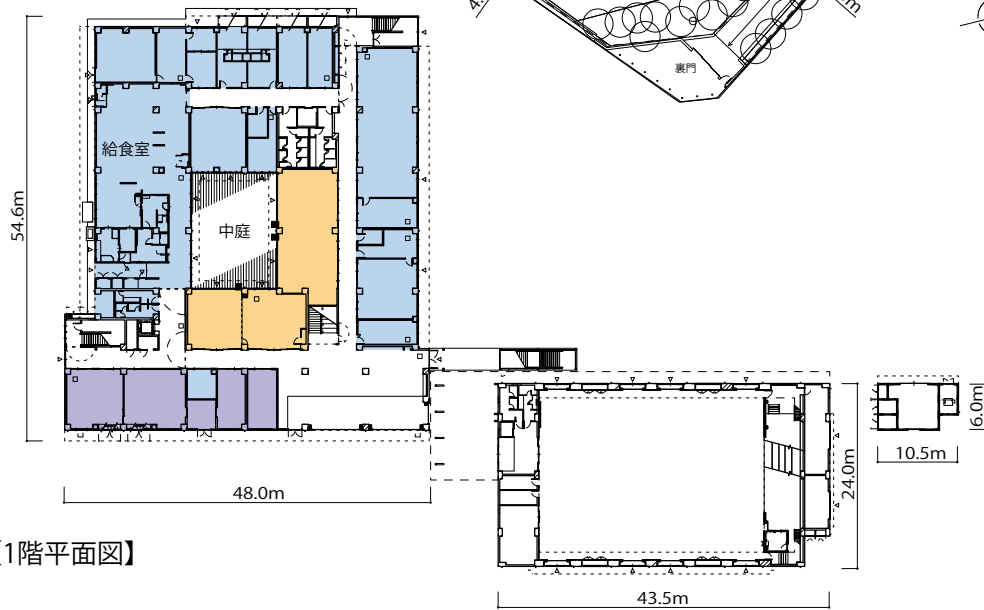


新校舎から既存体育館への暫定屋外廊下（図中紺色）を追加しました。暫定屋外廊下は既存体育館解体工事に撤去します。

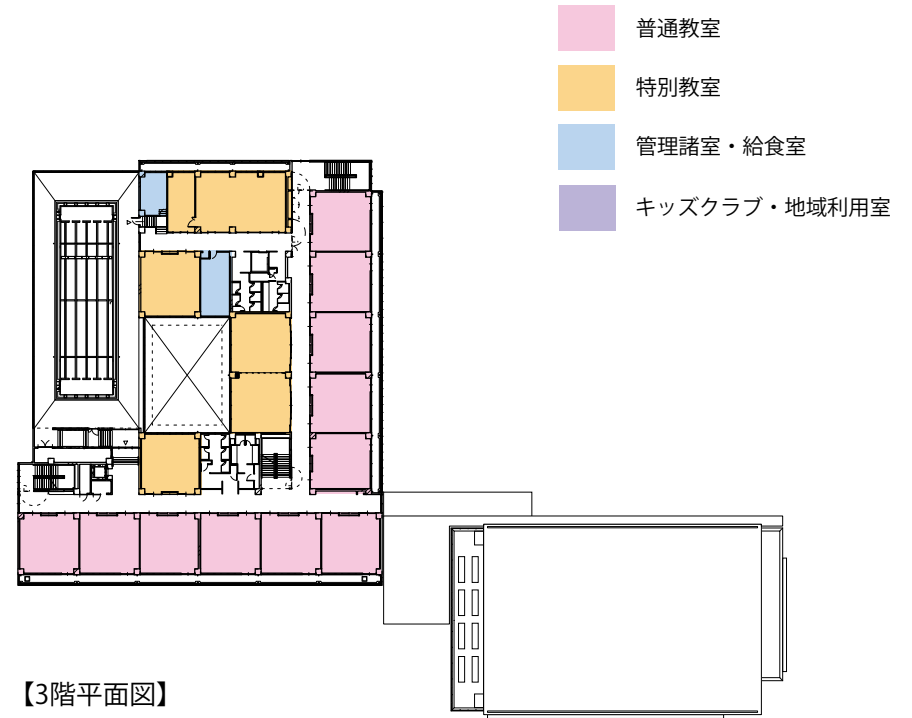
■配置図・各階平面図



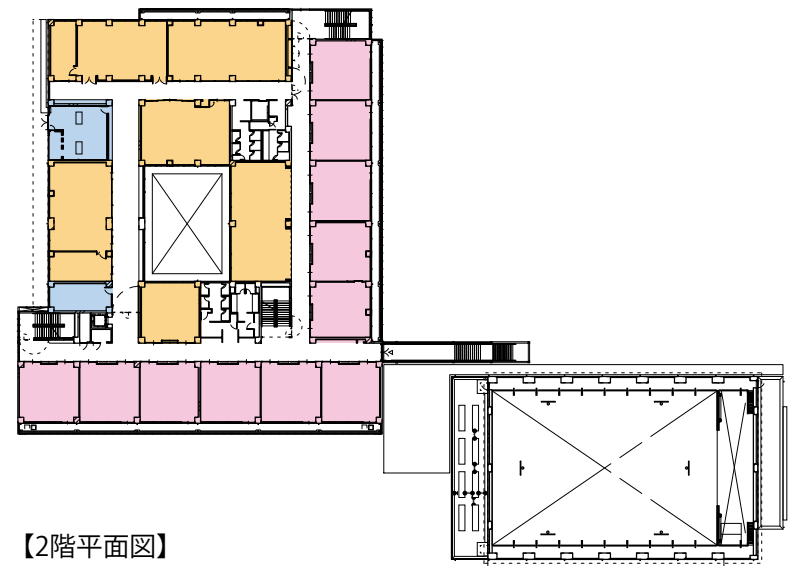
【配置図兼屋根伏図】



【1階平面図】



【3階平面図】



【2階平面図】

- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室・給食室
- キッズクラブ・地域利用室

※詳細は今後の設計で変更する可能性があります。

工 事 説 明 書

工 事 名 榎が丘小学校校舎建替工事（建築工事）

令和 5年 1月25日 P.M. 6 : 30 ~
榎が丘小学校 体育館

発 注 者	横浜市教育委員会事務局施設部教育施設課
工事監理者	横浜市建築局公共建築部学校整備課
設 計 者	株式会社濱田慎太建築事務所
工事施工者	馬淵・小雀建設共同企業体

目 次

1.	工 事 概 要	P. — 1
2.	建 物 概 要	P. — 1
3.	施 工 要 領	P. — 1～2
4.	工 事 工 程 表	P. — 3
5.	杭 打 工 事	P. — 4～6
	・杭工事施工順序	
	その他添付資料	P. — 7
	・搬出入車両経路	P. — 8
	・仮設計画図	P. — 9

1. 工 事 概 要

- (1) 工事名 榎が丘小学校校舎建替工事 (建築工事)
- (2) 工事場所 青葉区榎が丘 29 番地の 2
- (3) 発 注 者 横浜市教育委員会事務局施設部教育施設課
Tel 045-671-3298
担当係長 江口
担当者 宮脇
- (4) 工事監理者 横浜市建築局公共建築部学校整備課
Tel 045-671-2969
担当係長 月本
担当者 海保
- (5) 設 計 者 株式会社濱田慎太建築事務所
Tel 045-543-3388
設計監理 濱田
- (6) 工事施工者 馬淵・小雀共同企業体
会社Tel 045-712-1226 (代表会社：馬淵建設)
現場Tel 未定 ※確定次第、お知らせ看板に表記致します。
現場代理人 藤山
- (7) 工事期間 自 令和 5年 1月
至 令和 6年 7月

2. 建 物 概 要

- (1) 校舎棟 鉄筋コンクリート造 3階建
23教室、特別教室、管理諸室、給食室、屋上プール
- (3) 附属棟一式
- (4) その他 敷地面積 (12,950.13 m²)
建築面積 (2,275.99 m²)
延床面積 (6,480.88 m²)
高さ (11.34m)

3. 施 工 要 領

- (1) 仮設工事
仮設搬入路、仮囲い、仮設詰め所を P.10 仮設計画図の通り当初工事として施工いたします。
- (2) 杭工事
杭工事は、オーガーにより地盤を先行掘削した後に根固め液および杭周固定液を注入し、自沈又は回転によって所定の支持層に挿入する為、振動・騒音の少ない工法です。

(3) 現場管理

- ①当建物竣工まで、災害防止には万全を期します。
- ②作業所内に宿舎は設置いたしません。
- ③工事関係者の風紀維持等については、厳正な管理を行います。
- ④工事により、周辺を汚損しないよう随時清掃する等適切な配慮をします。

(4) 交通対策

- ①工事関係車両の運転者に交通法規の遵守を徹底します。
- ②ガードマンを搬入路入口に常駐させ、交通安全の確保に全力を尽くします。
- ③工事用車両及び一般の通行について所轄警察署と打ち合わせを行い、その指示に従います。
- ④工事中大型車両の出入り時は、交通誘導員を増員配置し通行人や関係者への十分な配慮を行います。

(5) 作業時間及び休日

- ①作業時間は原則として午前 8 時から午後 6 時までといたしますが、後片付け等の軽作業で延長になる場合があります。なお、コンクリート打設時は、交通事情等により延長する場合がありますのでご了承願います。
- ②日曜・祝祭日は原則として休業日と致しますが、下記の場合については作業を行うものとします。
 - ・既設校舎接続工事及び仮囲い工事については、休校日（日曜・祝祭日等）に行う作業
 - ・所轄警察署等の指導に基づき行う作業（道路工事等で時間制限のある作業）
 - ・交通渋滞、事故等の理由によりやむを得ない事情が生じた場合の作業
 - ・内装工事等、騒音・振動の少ない作業

(6) 災害防止

敷地周辺には、仮囲いを設け、施工中は養生ネット・シート等を配置し、場内からの落下物・飛散物による事故防止・近隣へのご迷惑には万全を期します。

(7) 火災防止

作業所内は、火の取り扱いには十分注意すると共に、消火器・防火用水等を常備し、万全の火災対策を講じます。

(8) 騒音・振動・防塵対策

工事施工のための機械車両等の使用にあたっては、法令を遵守し、その設置場所及び使用方法等に留意し、騒音・振動の減少に努めます。なお、防塵については常時、散水・シート等にて対応いたします。

(9) 損害の補償

当建築の竣工にあたり、万一工事に起因して家屋に損傷が生じた場合には、責任をもって補修いたします。このため、工事着手前に隣接する家屋については居住者の求めに応じて、双方立ち会いのうえ調査し写真を撮り、記録致したいと考えています。

上記の他、皆様のお気付きの点がございましたら、ご遠慮なくお申し立て下さい。

誠意を持って協議・検討させていただきます。

4. 工事工程表

(1) 工程表

工事名	R5												R6						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
仮設工事																			
杭打工事																			
土工事																			
躯体工事																			
仕上工事																			
外構工事																			

(2) 主な大型車予定出入数

杭打工事	ダンプ車	1日の延台数 12台
土工事	ダンプ車	1日の延台数 36台
躯体工事	コンクリートミキサー車	1日の延台数 65台

(3) コンクリート打設

	校舎棟	総台数 4.5m ³ 積
基礎コンクリート	6月下旬～8月下旬	≒1,040台
1階 "	9月中旬～10月下旬	≒225台
2階 "	10月下旬～11月下旬	≒240台
3階 "	11月下旬～1月中旬	≒210台
PH階 "	1月中旬	≒15台

全て場内待機とし、現場周辺に待機は行いません。

5. 杭 打 工 事

作業の中で特に大きな機械による工事について説明致します。

P5、6 参照

杭先端支持力係数 $\alpha=363/\alpha=341$ 施工管理装置システムにより、高支持力と高い信頼性を確保 プレボーリング拡大根固め工法の進化形・Hyper-ストリート工法の誕生

Hyper-ストリート工法は、オーガにより地盤を先行掘削した後、根固め液・杭周固定液を注入し、杭を自沈または回転により所定の支持層に1D以上挿入する工法です。

オーガヘッド、スクリュウ、攪拌ロッド及び連結ロッドなどで構成される掘削攪拌装置を使用し掘削から根固め液注入・根固め部上下反復・杭周固定液注入・杭周固定部上下反復・杭挿入設置までの施工手順で施工します。

また、高精度で効率的に施工をサポートする施工管理システムを導入することで、根固め球根部の築造管理や支持層管理をリアルタイムで行い、品質確保に努めています。

Hyper-ストリート

全長ストリート掘削施工

標準既製コンクリート杭使用

多種多様な地盤に適用可能

シンプルな施工で高い経済性

Hyper-straight Method of Construction

プレボーリング系高支持力工法 杭先端支持力係数 $\alpha=363/\alpha=341$

5

低コストで確実な支持力を供給できる、時代の要請にマッチしたオンリーワン技術の提案です。

【シンプルな施工】

Hyper-ストリート工法は、全掘削工程を同径で施工するストリート掘削作業のため、施工管理が容易で工期も短縮されます。

【標準既製コンクリート杭を使用】

高支持力を得るための専用下杭が不要で、標準の既製コンクリート杭を使用することが可能です。PHC杭、PRC杭、SC杭、ST杭（頭部側を拡張する場合）などの既製コンクリート杭及び鋼管杭（上杭）の使用ができ、杭径は300mmから1000mm（下杭）、300mmから1200mm（中杭、上杭）としています。

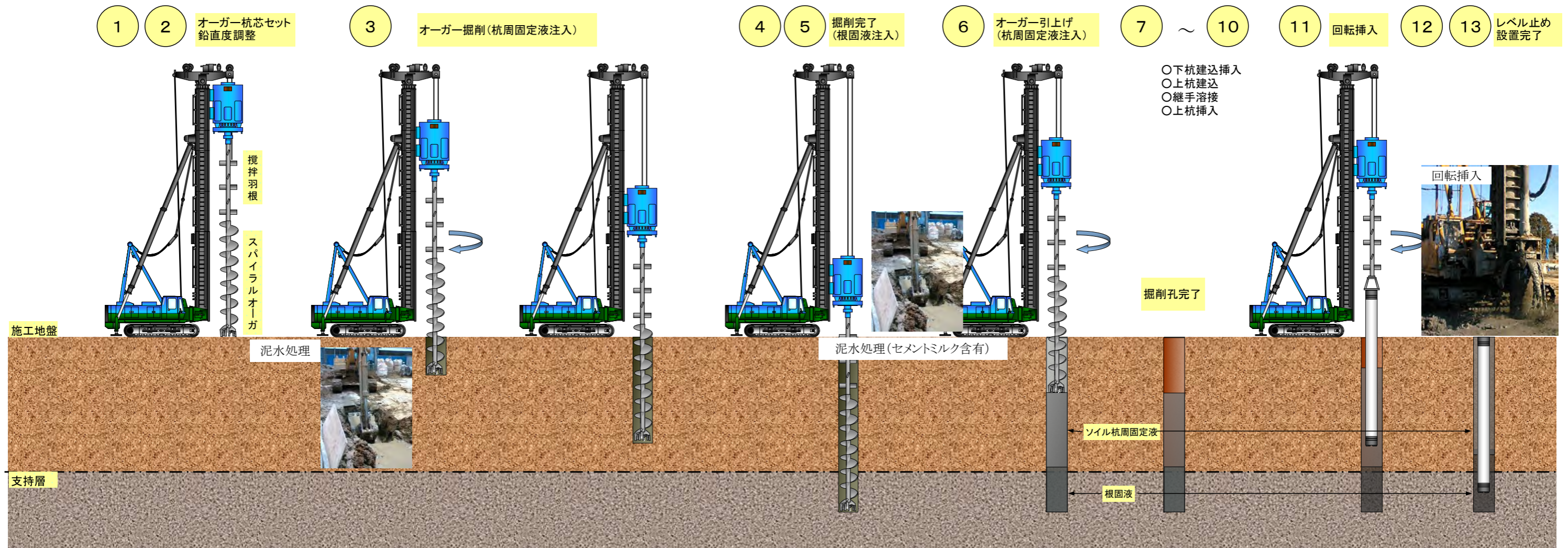
【低コストで高支持力】

先端支持力は、 $\alpha=363$ （砂質地盤・礫質地盤）・ $\alpha=341$ （粘土質地盤）で、施工地盤から杭先端までの最大施工深度は、64.5m（砂質地盤・礫質地盤）・60.3m（粘土質地盤）です。

【施工管理】

Hyper-ストリート工法での施工時には、「施工管理装置」を活用することで、根固め球根部の築造管理や支持層管理をリアルタイムに行い、工事品質管理と信頼性の高い施工が可能です。施工管理者が操作ボツタスのモニターを操作・確認しながら確実に施工管理ができます。（積分電流計、流量計など）

HS工法施工順序



6. その他添付資料

- 搬出入車両経路 P8
- 仮設計画図 P9

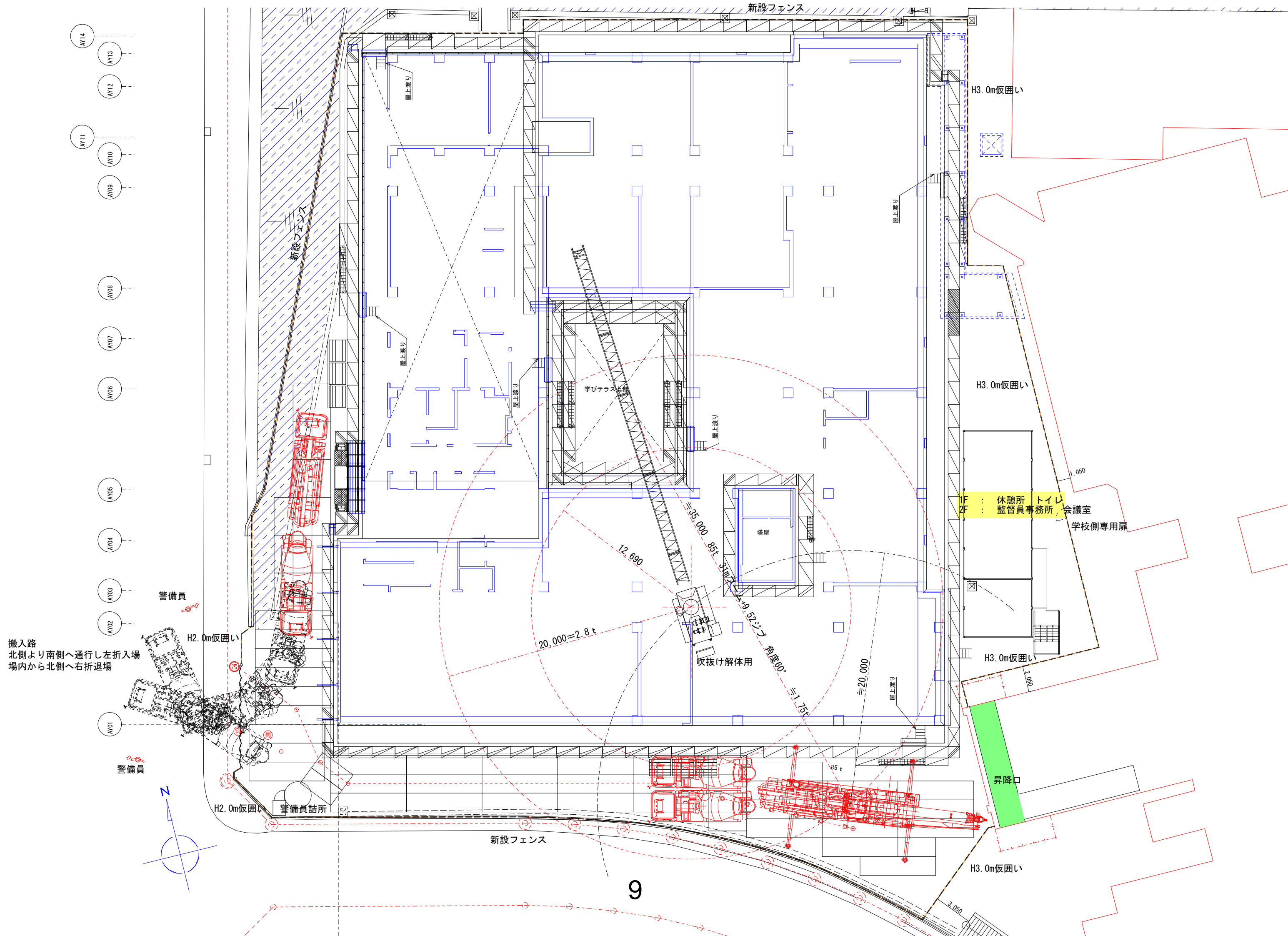
搬出入経路

社内略称	JV榎が丘小建替	作業所長	藤山 成雅
事務所住所	未定		
電話番号	未定	FAX番号	未定
工事名	榎が丘小学校校舎建替工事（建築工事）		
工事場所	〒227-0063 神奈川県横浜市青葉区榎が丘29番地の2		
工期	2022/12/23	～	2024/7/19
発注者	横浜市教育委員会事務局施設部教育施設課	設計：監理	株式会社濱田慎太建築事務所
支店より所要時間	車：約35分 電車：約75分【東急田園都市線：青葉台駅下車】		
〈最寄り駅から〉	現場徒歩：10分程度	現場事務所：未定	

〈付近略図〉 この地図の著作権は横浜市に帰属します。この地図は一部加工しています。



- ・スクールゾーンについては、通勤車両・工事車両は通行禁止とします。
- ・搬入出時間制限 AM7:00～7:30 8:45～17:30(下校時間については、日々調整)
※7:50～8:40登校時間は搬出入禁止
- ・現場内通勤車両は止められません。近くのコインパーキングに駐車願います。
- ・歩行喫煙、歩行飲食は厳禁 ※小学生が見ています。
- ・学校周辺に待機車両禁止
- ・駐車場より徒歩、最寄り駅から徒歩の方の場内入場は、登校時間を避ける様に願います。登校時間8:00から8:30が集中しています。
朝礼が8:00から行いますので7:50までには入場願います。
やむを得ない場合は、事前に所員まで連絡願います。



- AY14
- AY13
- AY12
- AY11
- AY10
- AY09
- AY08
- AY07
- AY06
- AY05
- AY04
- AY03
- AY02
- AY01

搬入路
北側より南側へ通行し左折入場
場内から北側へ右折退場

警備員

警備員

H2.0m仮囲い 警備員詰所

新設フェンス

9

H3.0m仮囲い

H3.0m仮囲い

H3.0m仮囲い

H3.0m仮囲い

20,000=2.8t

吹抜け解体用

塔屋

昇降口

1F : 休憩所 トイレ
2F : 監督員事務所 会議室

学校側専用扉

学びテラス上箱

屋上張り

屋上張り

屋上張り

屋上張り

屋上張り

屋上張り

85t

≒35.00

12.690

85t 3102mm

角度60°

≒1.75t

≒20.000

2.050

1.050

3.050

